

2023 年度「獣医学教育評価」の結果について

I. 獣医学教育評価の目的

本協会の評価事業は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」（公益財団法人大学基準協会定款第3条）という目的に基づいて行われます。そして、獣医学教育評価では、より具体的に以下の2つの目的を掲げています。

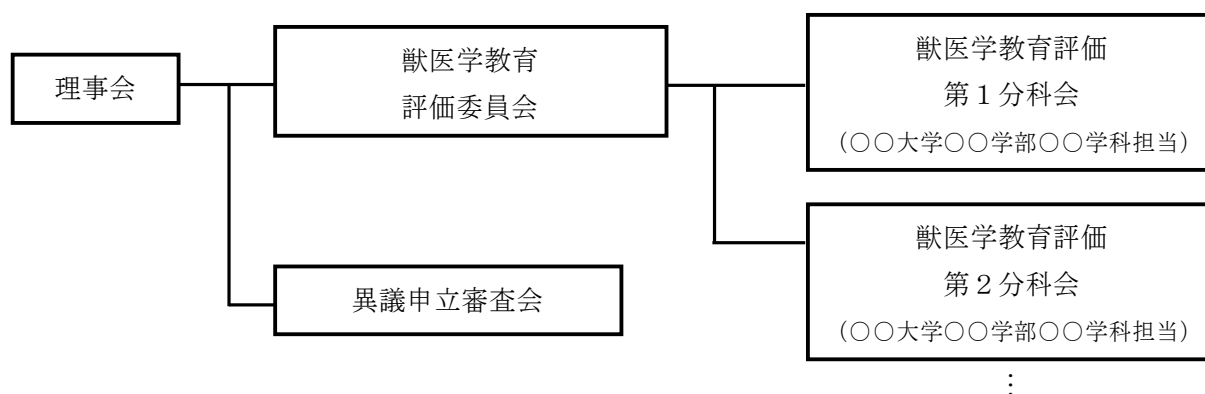
- ① 獣医学教育に関する基準の適合判定を行うことにより、当該獣医学教育課程の質を社会に対して保証すること
- ② 評価結果の提示やアフターケア等を通じて、当該獣医学教育課程の質の維持及び向上を継続的に支援すること

上記のような目的を果たしていくために、2017年度より獣医学教育評価を実施してきました。特に、①に関しては、当該獣医学教育課程の目的の達成に向けた活動の実施と、自己点検・評価を教育研究活動の改善に結びつけるためのシステムの整備という2点を重視しています。

II. 獣医学教育評価の組織体制

本協会の獣医学教育評価では、下掲のような組織体制が採用されています。

獣医学教育評価組織体制図



各組織体の構成などは、下表の通りであり、いずれも獣医学教育課程の教員、獣医師資格の有資格者、外部有識者から構成されます。また、「獣医学教育評価分科会」は申請獣医学教育課程ごとに設けられます。

獣医学教育評価関係会議体の構成等

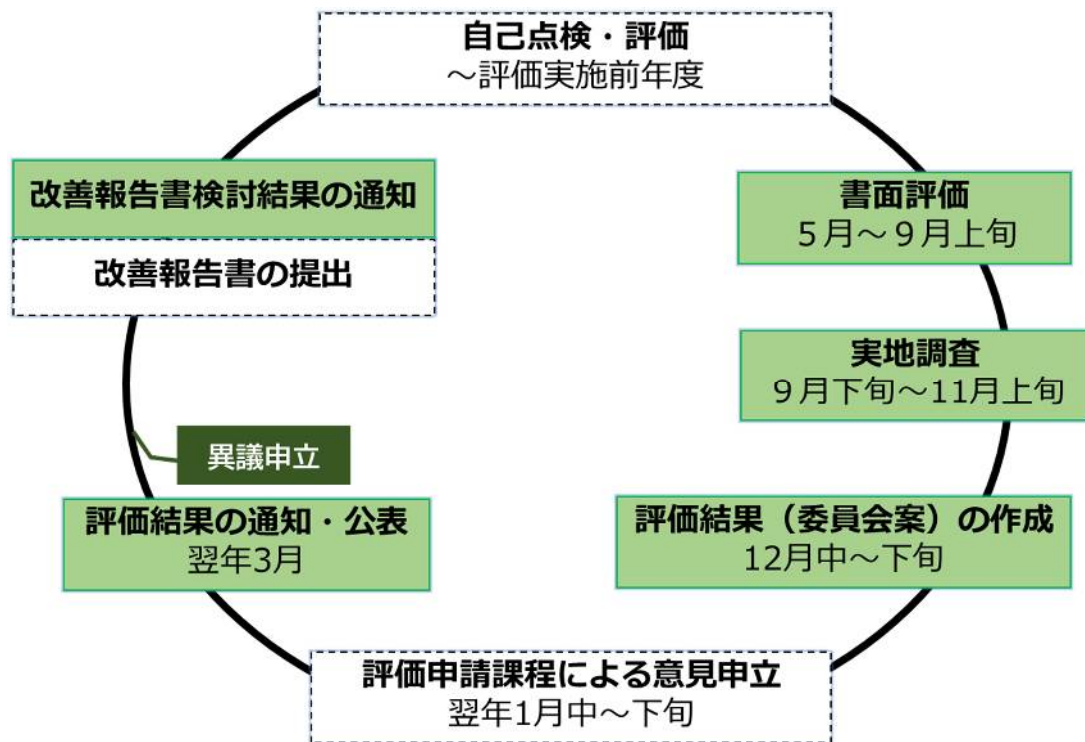
組織体	人数	備考
獣医学教育評価委員会	10名以内	必要に応じて幹事を置くことがある。
獣医学教育評価分科会	原則3名	主査1名と委員2名から構成される。必要に応じて委員を増員する場合や、オブザーバーが参加する場合もある。

Ⅲ. 獣医学教育評価のプロセス

1. 評価プロセス

本協会の実施する獣医学教育評価のプロセスは、以下の図のようになります。

評価プロセス



また、獣医学教育評価の1年間のプロセスを時系列に取りまとめると下表のようになります。

年間の評価プロセス

獣医学教育 評価分科会	評価者研修 セミナー	評価の内容・方法や守秘義務などに関する内容の学習
	書面評価	提出資料に基づく書面評価、主査・委員による審議
	実地調査	当該大学での面談調査、学生インタビュー、資料閲覧、 施設・設備見学
獣医学教育 評価委員会	各分科会より提出された分科会報告書に基づく評価結果（委員会案）の 作成、意見申立への対応、評価結果（案）の作成	
理事会	獣医学教育評価委員会より提出された評価結果（案）の審議	

2. 提言とアフターケア

(1) 提言

評価結果においては、内容に応じて表3のような4種類の「提言」を付すことがあります。

獣医学教育評価結果における提言

種類	内容
長 所	基本的な使命や固有の目的の達成に向けて成果・機能が認められる取組み
特 色	固有の目的に即した特色ある取組み
検討課題	十分な検討と改善に向けた一層の努力が望まれる事項
勸 告	早急に改善措置を講じる必要がある事項

(2) アフターケア

上記の「提言」のうち、「検討課題」及び「勧告」に関しては、評価の終了後に以下のような対応が求められます。

①改善報告書の提出

評価結果に「検討課題」及び「勧告」が付された場合には、評価の終了後、本協会が指定する期日までに「改善報告書」を提出する必要があります。提出された「改善報告書」は、獣医学教育評価委員会において検討を行い、その結果は各大学に通知します。

IV. 獣医学教育評価結果の構成

項目名	内容
評価結果	「獣医学教育に関する基準」への適合状況
	認定期間
総評	評価結果の全体的な概要（当該獣医学教育課程の目的、特色ある取組み、改善が求められる事項や今後の課題など）
獣医学教育に関する基準 の各項目における概評及 び提言	「概評」
	「提言」（「長所」、「特色」、「検討課題」、「勧告」）

V. 2023年度の獣医学教育評価の結果

1. 申請獣医学教育課程及び適合判定

(1) 獣医学教育評価

設置形態	専門職大学院の名称	判定
国立	岐阜大学 応用生物科学部共同獣医学科	適合
国立	鳥取大学 農学部共同獣医学科	
国立	東京大学 農学部獣医学課程	適合
私立	日本獣医生命科学大学 獣医学部獣医学科	適合
国立	宮崎大学 農学部獣医学科	適合

※岐阜大学と鳥取大学による共同教育課程として設置

2. 2023年度獣医学教育評価関係委員会等名簿

(1) 獣医学教育評価委員会名簿

役名	氏名	所属名
委員長	村上 賢	麻布大学
副委員長	滝口 満喜	北海道大学

委員	内 田 和 幸	東 京 大 学
委員	奥 野 敦 史	株式会社メディアプロデュース
委員	酒 井 健 夫	日 本 獣 医 師 会
委員	志 水 泰 武	岐 阜 大 学
委員	鈴 木 一 由	酪 農 学 園 大 学
委員	三 角 一 浩	鹿 児 島 大 学
委員	山 崎 伸 二	大 阪 公 立 大 学
委員	山 脇 英 之	北 里 大 学
幹事	中 山 裕 之	動物医療センター Peco 獣医療研究所 元 東 京 大 学

(2024年3月31日現在)

(2) 獣医学教育評価分科会名簿

岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科

鳥取大学農学部共同獣医学科

役 名	氏 名	所 属 名
主査	三 角 一 浩	鹿 児 島 大 学
委員	内 田 和 幸	東 京 大 学
委員	北 川 勝 人	日 本 大 学
委員	寺 岡 宏 樹	酪 農 学 園 大 学

東京大学農学部獣医学課程

役 名	氏 名	所 属 名
主査	滝 口 満 喜	北 海 道 大 学
委員	鯉 江 洋	日 本 大 学
委員	山 崎 伸 二	大 阪 公 立 大 学

日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科

役名	氏名	所属名
主査	山脇英之	北里大学
委員	恩田賢	麻布大学
委員	村瀬敏之	鳥取大学

宮崎大学農学部獣医学科

役名	氏名	所属名
主査	佐藤晃一	山口大学
委員	小川晴子	帯広畜産大学
委員	松本浩毅	日本獣医生命科学大学

(2024年3月31日現在)

3. 2023年度獣医学教育評価のスケジュール

(1) 獣医学教育評価

2023年～1月末	評価申請書の提出
2月	獣医学教育評価委員会の開催 ^{※1}
4月	評価関連資料の提出
4月下旬～5月下旬	評価者研修セミナーの開催 ^{※1}
～7月上旬	分科会主査・委員による評価所見作成、 分科会主査・委員による分科会報告書（原案）とりまとめ
～7月下旬	分科会主査による分科会報告書（原案）の確認
8月	分科会の開催 ^{※1}
10月～11月上旬	実地調査の実施 ^{※2} 分科会報告書の完成
11月下旬	獣医学教育評価委員会正・副委員長、幹事による検討・審議 ^{※1}
12月上旬	獣医学教育評価委員会の開催 ^{※1}
12月下旬	評価結果（委員会案）の申請獣医学教育課程への送付
2024年2月中旬	獣医学教育評価委員会の開催 ^{※1}
2月下旬	理事会の開催

※1：評価に係る各種会議、研修等は、審議・検討内容等に応じて、メール審議、対面形式、

ウェブ会議、対面形式・ウェブ会議併用のいずれかの方法により実施しました。特に慎重な審議を要する場合には、対面形式又は対面形式・ウェブ会議併用により実施しました。

※2：実地調査は、評価者が現地を訪問して実施しました。